

赤潮発生状況について

棚田 教生・天真 正勝

赤潮情報伝達事業の一環として、県下における赤潮発生状況を取りまとめたので報告する。なお、赤潮発生時などの情報収集、現場における赤潮の推移状況、被害発生調査等は前年と同様の方法で実施した。

結果

表1に平成13年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮形成域の分布をそれぞれ示した。本年は5件の発生が認められ、前年より2件少なかった。また、漁業被害は発生しなかった。

Gymnodinium sp.による赤潮が発生したのが本年の特徴であった。本種は6月下旬から播磨灘で発生し、その後内の海及び徳島市～阿南市にかけての紀伊水道沿岸域でも7月初旬から中旬にかけて発生した。同定の結果、本種は伊万里型とは酷似しているものの別種（徳島産種）であることが判明した。しかし実際は*Gymnodinium* 伊万里型と徳島産種が混在して出現していたものと思われる。また、近年本県で発生していた*Gymnodinium* sp.も、同様に伊万里型と徳島産種が混在していたものと思われる。

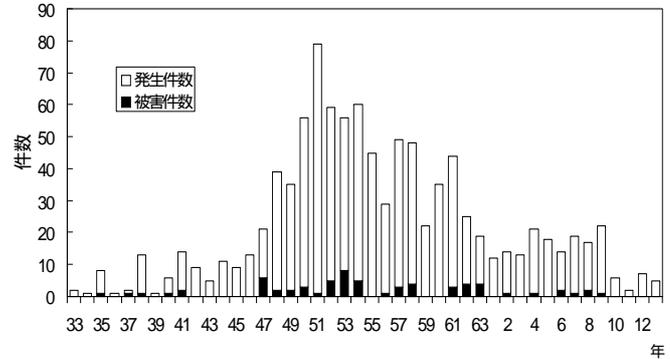
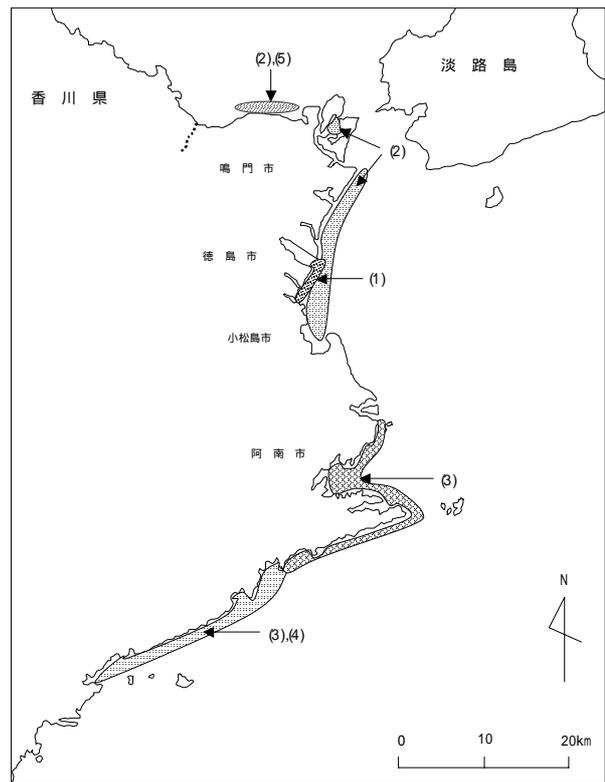


図1 赤潮の発生件数と被害件数の推移



図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

図2 赤潮形成域の分布

表1 平成13年の赤潮発生状況

整理番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種名	漁業被害	最高細胞数(cells/ml)
1	6/5～6/8	4	紀伊水道 徳島市沿岸	<i>Heterosigma akashiwo</i>	無	32,000
2	7/13～7/16	8	播磨灘 鳴門市沿岸～紀伊水道 小松島市沿岸	<i>Gymnodinium</i> sp. (伊万里型 類似種混在の可能性あり)	無	970
3	8/2～8/6	5	紀伊水道 阿南市沿岸～海部郡 沿岸	<i>Mesodinium rubrum</i>	無	不明
4	11/20～11/30	11	海部郡沿岸	<i>Mesodinium rubrum</i>	無	不明
5	11/21～11/25	5	播磨灘 鳴門市北灘町沿岸	<i>Mesodinium rubrum</i>	無	1,180